

## ジェネリック医薬品の使用割合 政府目標達成に黄色信号！

～ 令和2年4月時点の使用割合**77.3%**（中国5支部中 最下位）～

- 後発医薬品（以下、ジェネリック医薬品）は、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものであり、政府においてはその使用を推奨するとともに、使用割合を本年9月までに80%とすることが定められています（平成29年6月に閣議決定）。
- 協会けんぽ広島支部（以下、広島支部）では、支部加入者の使用割合が政府目標である80%に到達するよう、これまで様々な取組みを進めてきました。  
この結果、3年間で使用割合は11.2ptの増加となりましたが、令和2年4月時点において目標（80%）には到達していません。
- さらに使用促進に当たっては、加入者への周知と、関係機関との連携した取組みが重要と考えており、引き続き使用促進に向けた取組みを進めてまいります。

### 広島支部の現状（別紙1,2,3）

- ✓ 使用割合（令和2年4月診療分）は77.3%となりました。 ※ 平成29年4月実績は66.1%
- ✓ 全国平均（79.0%）を1.7pt下回っており、47支部中38位（中国5支部の中では最下位）と低迷しています。
- ✓ 市区町別の使用割合（調剤レセプトに限る）は17.34ptの地域差が生じています。最も高かったのは神石高原町（89.76%）で、最も低かったのは大崎上島町（72.42%）となりました。

### 他県との比較において特徴的な点（別紙4）

- ✓ 診療所で処方された後に薬局で調剤された薬の使用割合が低い〔影響度は1.25pt〕
- ✓ 40～59歳の使用割合が低い〔影響度は0.58pt〕

### 現在進めている主な取組み（別紙5）

- ✓ 保険薬局への訪問等による協力依頼（広島県、中国四国厚生局と連携）  
※ 新型コロナウイルスの感染が拡大している状況から、医療機関への協力依頼については見合わせています
- ✓ 加入者への軽減額通知の送付
- ✓ ジェネリック医薬品希望シールの無料配布

#### 【協会けんぽについて】

中小企業等（約232万社）で働く従業員やそのご家族（約4,044万人）が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 広島支部加入事業所数：54,570事業所（令和2年3月時点）
- ・ 広島支部加入者数：1,096,748人（令和2年3月時点）

#### ＜本件に関するお問い合わせ＞

全国健康保険協会広島支部  
企画総務グループ  
担当：浜崎・新谷  
TEL082-568-1014